

プログラム 名称	物理学
概要	1965年にノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士は、物理学について「自然界に起こる現象の奥に潜む法則を観察事実を照らして探求するもの」と述べている。朝永博士の受賞から50年以上が経ち、自然界には存在しなかった新元素や新素材をも含む文字通り「すべてのもの」が、いまでは物理学の探求対象となっている。 様々な分野の基礎となる物理学を学ぶことで、自然現象から社会現象まで深く緻密に観察し、理解する能力を身に付けることができる。そして、数学を用いて精密に体系化された物理学を系統的に学ぶことで、論理的な思考能力と能動的な問題解決能力の修得に繋がる。
到達目標	1) 基本的な物理法則を理解し、それらを用いて自然現象を説明できる。 2) 物理的な問題を数式で表現し、論理的に考えて解決する力を身につけている。 3) 物理学的な視点に基づいて、社会や日常の課題を科学的に考察し、判断できる。
履修資格	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること。 ・ 所定の授業科目について12単位以上を修得していること。 ・ 学位プログラムが決定していること。 ・ 学位プログラムが物理学プログラムではないこと。 ・ 創生学部生で「物理学領域学修科目パッケージ」を選択していないこと。
その他 特記事項	補足資料の「パッケージ型マイナー：物理学パッケージ履修モデル」を確認すること。 電磁気学IA, IB, IIA, IIBは令和4年度以前入学者対象の科目、電磁気学I(理), II(理)は令和5年度以降入学者対象の科目なので注意すること。

区分	開講番号	開設科目名	必修	単位	学期	曜限	形態	対象学年	分野	水準	定員	隔年開講	備考
	262G6017	物理学への招待 A		2	第2ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	120		
	260G6516	物理学への招待 B		2	第3,4ターム	月4	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	120		
	260G5018	物理学基礎B I		2	第1,2ターム	他	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	150		
	261G5019	物理学基礎B I		2	第1ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	150		
	261G5020	物理学基礎B I		2	第1ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	140		
	261G5021	物理学基礎B I		2	第1ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	150		
	261G5022	物理学基礎B I		2	第1ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	150		
	262G5023	物理学基礎B I		2	第2ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	100		
	264G5513	物理学基礎B II		2	第4ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	160		
	264G5514	物理学基礎B II		2	第4ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	160		
	264G5515	物理学基礎B II		2	第4ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	140		
	264G5516	物理学基礎B II		2	第4ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	43	03	160		
	260G5015	物理学概論		2	第1,2ターム	金2	講義	1,2,3,4,5,6	43	02	200		
	260G5511	物理学概論		2	第3,4ターム	水1	講義	1,2,3,4,5,6	43	02	180		
	263S0559	基礎物理数学		2	第3ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4	43	03	70		1
	264S0560	基礎ベクトル解析		2	第4ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4	43	03	70		1
	260S0558	解析力学		2	第3,4ターム	金4	講義	2,3,4	43	03	70		1
	261S2507	電磁気学IA		1	第1ターム	月4	講義	2,3,4	43	04	70		1,2
	262S2508	電磁気学IB		1	第2ターム	月4	講義	2,3,4	43	04	70		1,2
	260S2560	電磁気学I(理)		2	第1,2ターム	月4	講義	2,3,4	43	04	70		1,3
	263S2509	電磁気学IIA		1	第3ターム	月5	講義	2,3,4	43	04	70		1,2
	264S2510	電磁気学IIB		1	第4ターム	月5	講義	2,3,4	43	04	70		1,2
	260S2561	電磁気学II(理)		2	第3,4ターム	月5	講義	2,3,4	43	04	70		1,3
	262S2520	熱力学A		1	第2ターム	火2	講義	2,3,4	43	03	70		1
	262S2521	熱力学B		1	第2ターム	金2	講義	2,3,4	43	03	70		1
	261S2530	特殊相対論A		1	第1ターム	金2	講義	3,4	43	04	70		1
	262S2531	特殊相対論B		1	第2ターム	金2	講義	3,4	43	04	70		1

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

- 備考 1) 理学部・創生学部の学生を優先的に聴講許可します。オナース型マイナー履修者の聴講許可を優先することがあります。
2) 令和4年度以前入学者対象の科目です。
3) 令和5年度以降入学者対象の科目です。

マイナー・プログラム「物理学」履修モデル（必要単位数：12単位）

■ 履修計画上の注意点：

物理学は「積み上げ式」の学問であり、各科目をきちんと理解するには履修する順番が重要となります。次の注意事項および各科目シラバスの「登録のための条件(注意)」を確認の上、履修計画を立ててください。また、下記にある履修モデルも参考にしてください。

- ・科目名と履修順序：科目名に I, II, A, B を含むものは「I → II」及び「A → B」の順に受講すること（但し、「物理学への招待」は除く。）
- ・解析力学：「物理学基礎 BI, BII」の履修後に受講すること
- ・電磁気学：「基礎物理数学」や「基礎ベクトル解析」が履修済であることが望ましい
- ・熱力学：「物理学基礎 BI, BII」が履修済であること、微積分の基礎数学が習得されていることが望ましい
- ・特殊相対論：「物理学基礎 BI, BII」や「電磁気学」が履修済であることが望ましい（但し、特殊相対論は、市民向けに開放される授業科目でもあり入門的な内容となっています。）

■ 参考情報：

物理学プログラムでは、1年次(物理学基礎・基礎物理数学・基礎ベクトル解析)、2年次(解析力学・電磁気学・熱力学)、3年次(量子力学・統計力学)という流れで主要な科目群の履修が進められています。

履修モデル①（基礎・入門：力学～相対論 12単位）

	1年目	2年目	3年目	4年目
第1ターム		物理学基礎 BI (2)	特殊相対論 A (1)	
第2ターム		物理学への招待A (2)	特殊相対論 B (1)	
第3ターム	基礎物理数学 (2)			
第4ターム	物理学への招待 B (2)	物理学基礎 BII (2)		

履修モデル②（力学～電磁気学～相対論 12単位）

	1年目	2年目	3年目	4年目
第1ターム	物理学基礎 BI (2)	電磁気学 IA (1)	特殊相対論 A (1)	
第2ターム		電磁気学 IB (1)	特殊相対論 B (1)	
第3ターム	基礎物理数学 (2)			
第4ターム	基礎ベクトル解析 (2) 物理学への招待 B (2)			